

## 2019年スマトラ島のオランウータン講演会実施レポート

2019. 11. 16SAGA22 おらけんセッション

担当：川嶋加奈子



代表黒鳥です。2019年11月のスマトラ島のオランウータン講演会は、企画展などもあわせて盛況のうちに終わることができました。ご参加いただいた皆様まことにありがとうございました。そして共催・協賛で実施に尽力いただいた皆様、各団体、企業の皆さまにも心からお礼申し上げます。また、講演会・企画展は公益信託地球環境日本基金の助成を受けて実施いたしました。深く感謝いたします。

まず、講演会にいたる経緯をお話すると、私たちは2019年2月にスマトラ島を視察しました（おらけんメンバーや各地の飼育担当者など総勢13名で訪問）。スマトラオランウータン・タパヌリオランウータンの生息地を訪問、また現地関連団体（SOCP・OIC）を訪問し、現地の雰囲気と現状を肌で感じてきました。現地を訪問してわかることは多々あり、日本であまり知られていないスマトラ島と、スマトラ島に生息するオランウータンの事をもっと広めたいという想いを強くしました。そして、今回のスマトラ島訪問で縁を得た、研究者のマシュー・ノヴァク氏が日本招待に応じていただき、この講演会が実現することになりました。以下の内容で実施しました。

### 2箇所での講演会

- 2019年11月16日（土）：日本モンキーセンター第22回SAGAシンポジウム内
- 2019年11月17日（日）：名古屋市東山動植物園

### その他

- 2019年10月5日～12月15日：企画展『スマトラ島のオランウータン展』（日本モンキーセンター内ビジターセンター）

- 2019年10月中旬～11月17日：動画上映『スマトラ島の今』（東山動植物園内動物会館）

今回の講演会や企画展が、彼らの魅力を知り、より身近に感じ、その現状へも興味をもっただけの機会になり、日本でスマトラ島のオランウータンや現状がひろまるきっかけになりましたら、関係者一同にとってなによりの喜びです。見たり聞いたりしたことをぜひ身近な皆様にもお伝えいただけたらと願っています。また今後とも、スマトラ島やスマトラ島のオランウータン達に関心をもっただけのような活動を少しずつでもすすめていけたらと思っています。皆さま、ぜひ今後とも興味と関心をおよせください。

（2019年11月16日黒鳥講演スライドより）

## 講師紹介



マシュー・ノヴァク氏（PanEco 財団所属）

マシュー・ノヴァク氏は10年以上に渡り東南アジアの野生の類人猿の生態を研究、近年はスマトラ島北部でテナガザルやオランウータン等の研究をしています。

SOCP(スマトラオランウータン保全プログラム)に所属し保全活動にも力を注いでいます。一昨年新種と認定されたタパヌリオランウータンをはじめとするスマトラ島に生息する類人猿の研究とともに、野生生物と人間の軋轢など現地の事情や保全について活動されています。

### SOCP について…

SOCP (Sumatran Orangutan Coservation Programme)は、PanEco など長年スマトラオランウータン保全に実績のある団体などが複数あつまり、スマトラオランウータン及びタパヌリオランウータンのリハビリテーション事業・研究事業などを行っているプロジェクトの総称です。事務所は北スマトラのメダン市にあり、ディレクターは研究者としても著名な Dr. Ian Singleton 氏が務めています。メダン市郊外 Quotontine&RehabiritationCenter（検疫&リハビリセンター）と OrangutanHeaven(オランウータンヘイブン・現在建設中)を運営します。他にも保護個体の野生復帰地二か所や、研究拠点を複数持っています。

詳しい情報は <https://www.sumatranorangutan.org/>(英語のみ) へ。

## ■マシューご夫妻来日！

ここからは、当日の様子を写真多めでレポートいたします。



講習会前々日の夜に、マシューご夫妻がスマトラ島メダンから、セントレアへ無事ご到着！移動の疲れもみせず、にっこり笑顔をみせてくださるご夫妻。セントレアへは、黒鳥と、スタッフの中村がお出迎え。中村手作りのウエルカムボードを手にお二人を待ちます。



(C)Japan Orangutan Research Center



(C)Japan Orangutan Research Center

翌日は犬山へ移動して、半日観光日程でした。犬山城と、犬山城下町を散策。とても楽しんでいただきました。

その後、明日以降の講演会の打ち合わせをしました。できるだけ聴衆のみなさんに伝えたいことが伝わるよう、内容を増やしたり削ったり、マシューさんもぎりぎりまでこちらの要望に応えようと、スライドを調整してくださいました。導入トークをする黒鳥は宿で遅くまで、内容をつめていました。さて、いよいよ明日から本番です！

第22回アフリカ・アジアに生きる  
大型類人猿を支える集い

テーマ  
コミュニケーションで広がる  
保全、福祉、研究の輪

参加費無料  
※火曜日は観覧券必要  
事前申し込み不要

ポスター発表  
ブース展示  
観覧券  
10/15  
申込締切

Program どなたでもご参加いただけます！

11/16 (土)	11/17 (日)
10:00 開場	10:00 開場
10:30 ~ 12:00 セッション1: 動物園から伝えるメッセージ	10:30 ~ 12:10 セッション4: コミュニケーションも広げる保全、福祉、研究の輪
13:30 ~ 14:40 セッション2: 生息地から伝えるメッセージ	
招待講演① ホニアス・ソビウ氏 「ゴニア・ホソソワのチンパンジー」(仮)	
15:00 ~ 16:30 セッション3: 「おらけん」特別セッション 招待講演者 マシュー・ゾバク氏 「スマトラ島における類人猿の調査研究 および保全活動に関する報告」	web ページ お問い合わせ 〒484-0001 愛知県犬山市栄町1-1 公明国際人類学センター ☎ 0565-81-2327 E: sapa22@member.jp
17:00 ~ 18:30 ポスターセッション	

https://www.saga-22.org/

(C)Japan Orangutan Research Center

■SAGA22 シンポジウム『おらけんセッション』～2019年11月16日  
いよいよ講習会当日です。



開場と同時に参加のスタッフ一同で、まずはおらけんブースの設営です。  
 こちらはおらけんメインブースです。（右から 金森、那須、中村）

おらけんブースでは、オランウータンの著書や、研究者がボルネオ島で直接買い付けたオランウータングッズや、おらけんオリジナルのレターセット（照麻まみさんイラスト）の販売、募金、情報チラシの配布などを行っています。おらけんの存在や活動をしていただくため、可能な範囲でイベントのブース出展を行っています。



こちらはもうひとつのブース、おらけんスマタパ部門のセッティング。今回はスマトラ島のオランウータン講演にあわせて、講師マシューさんが所属する SOCP の活動紹介と、募金と、チャリティTシャツの販売を行いました。スマトラ島のオランウータン支援につながる小川珈琲の【オランウータンコーヒー】の紹介も行いました。このオランウータンコーヒーは、2019年秋から日本モンキーセンターの売店でも購入できるようになりました。



真剣な表情で打ち合わせ中。おらけんセッションの流れや、連携を確認しています。

(C)Japan Orangutan Research Center



そして15時10分すぎ、おらけんセッションがスタート。開場は最初から立ち見ができるほど満員でした。セッションの総合司会は金森がつとめました。

(C)Japan Orangutan Research Center



最初の演者は、代表の黒鳥。マシューさん招致の経緯や、SOCPのこと、2月に訪問した時の経験の紹介など、セッションの導入トークを行いました。日本国内のスマトラオランウータンも紹介。かなり数が減っている現状があります。

(スライド写真は市川市動物園のイーバン)

(C)Japan Orangutan Research Center



(C)Japan Orangutan Research Center



(C)Japan Orangutan Research Center

SOCPの代表イワンシグルトン氏によるショートムービー「スマトラ島の今」(4分)上映中。イワン氏からデータをいただき、おらけんで日本語訳をつけたものです。スマトラ島の現状や保護活動がよくわかる印象的なムービーに会場みなさんが熱心に見入っていました。今後も機会があるごとに紹介していきたいと思っています。



15時25分、いよいよマシュー氏の講演がスタート! タイトルは

【Conservation of Sumatra's Ape Species~スマトラ島における類人猿の調査研究および保全活動に関する報告】です。スマトラ島のテナガザルやオランウータンの生態、生息地の環境の変化について、タパヌリオランウータンの生息地を脅かすダム建設のレポート、彼らを絶滅させないためのアイデアなど、熱のこもった講演をするマシュー氏。



(C)Japan Orangutan Research Center

スライドごとに、田島がポイント解説を日本語でいれました。



(C)Japan Orangutan Research Center

熱心に聞き入る、満席の聴衆。質疑応答も活発で、たくさんの視点から質問ができました。



続いて、東山動植物園のスマトラオランウータンの飼育担当者武田氏の講演です。タイトルは【スマトラ島を訪ねて～動物園で実践したこと、伝えたいこと】



おらけんスタッフと一緒に訪問したスマトラ島での体験や、その体験を通じて気づいたこと、日本に戻って実践した新しい飼育の試みについての興味深い講演を行っていただきました。



金森よりしめの挨拶「今日はこのような機会をいただきありがとうございます。講師マシュー氏所属の SOCP への募金箱を設置しています。募金と一緒に日本からスマトラ島のオランウータンを支援したいという皆さまの気持ちこそを現地に届けたいと思って設置しています。ご協力いただければ幸いです」



講演後たくさんの皆さまが募金にご協力くださいました。ひとつひとつのご支援に心から感謝申し上げます。また、チャリティTシャツも講演後の販売で、完売いたしました！ おかげさまで【募金：28,038円】【Tシャツ販売金：24,500円】ものご寄付が集まりました。

【総額：52,538円】はすべておらけんから SOCP へ寄付いたします。スマトラオランウータン・タパヌリオランウータンの保護活動に役立てられます。日本とスマトラ島の支援の手は現在、ほとんどつながっていないのが現状です。こうして実際の支援を届けられるのは未来につながるとても有意義なことと考えます。ほんとうにありがとうございました。



おらけんセッション後、企画展前で。マシューさんと、招致に主に動いた担当黒鳥と川嶋の三人で撮影。実現した、やった一でがっちり握手。

(C)Japan Orangutan Research Center



(C)Japan Orangutan Research Center

当日講演会運営一同で。(左から東山動植物園武田氏、おらけん中村、金森、田島、久世、マシュー氏、川嶋、黒鳥)



東山動植物園講演ポスター

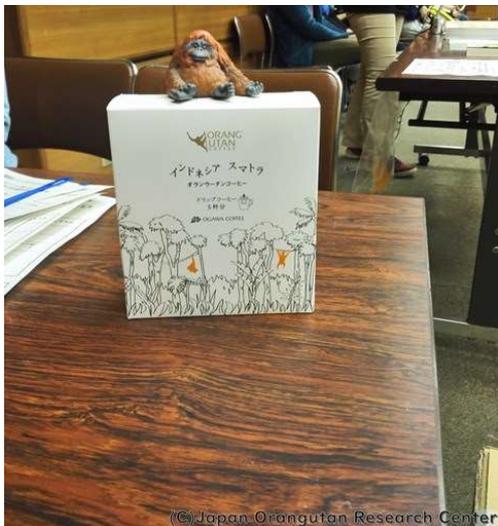
この講演会は東山動植物園とおらけんの共催で行いました。

また、小川珈琲（株）さんの協賛をいただき、参加者全員にオランウータンコーヒー（5杯分）のプレゼントを提供していただきました。

これを機会にオランウータンコーヒーのことを知っていただけたらとのことです。

- Date / 2019年11月17日(日) 11:00~12:00 (開場10:30)
- Venue / 名古屋市東山動植物園 動物会館レクチャーホール
- Fee / 無料(高校生以上は東山動植物園入園料が必要), 事前申込不要(先着100名)

- ◆ 講演は英語ですが、日本語の解説がつきます (English with Japanese comment)
- ◆ 内容は小学校高学年以上向けです
- ◆ 問い合わせ先: NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター  
E-mail アドレス info@orangutan-research.jp



↑オランウータンコーヒー。パッケージもとてもキュート。親しみをもって手に取っていただけたらとの願いでこのようなキュートなデザインを採用したそうです。（※上のオランウータンマスコットは商品にはついていません）

現在東山動植物園の北園売店でも、購入することができます。

オランウータン・コーヒーについて…

スマトラ島に生息するオランウータンの保全を目的とした世界規模で展開する「オランウータンコーヒープロジェクト」2017年春小川珈琲（株）がアジアで初めてオランウータンコーヒーを発売しました。購入することで、その一部がオランウータン保全団体と生産者支援（森林保護）に役立ちます。

詳しい情報は[小川珈琲（株）オランウータンコーヒーのサイトへ](#)



(C) Japan Orangutan Research Center



(C) Japan Orangutan Research Center

では当日のレポートをはじめます。この日も快晴でした。  
朝は犬山城下のサンデーマーケットに足を運びました。犬山城を背景にパチリ！いい写真です。今日もいい一日になりそうです。

その後、名鉄と地下鉄を乗り継いで、東山公園前駅に到着。



東山動植物園の正門ゲート前で。

(C) Japan Orangutan Research Center



さっそく開場の動物会館へ向かいます。  
入り口に設置してある講演ポスター前でぱちり。

(C) Japan Orangutan Research Center



11時からの講演にむわせ開始。東山動植物園のスタッフのみなさんともスライドかけて、早速最終打ち合や、マイクの調整を行います。



小川珈琲さんの情報コーナー。冊子は参加者全員に配布しました。

こちらが、協賛プレゼントのオランウータンコーヒーです！講演会后、アンケートと引き換えにお渡しすることに。（左から豊橋動植物公園の八代さん、平川動物園の森さん。各園のオランウータンの飼育担当。2019年2月のスマトラ視察旅行ご参加のご縁で今回お休みを利用しておらけんのお手伝いいただきました！ありがとうございます）

開場と同時にたくさんの参加者で会場がうまりました。

今日も定員いっぱい満席の参加でした。



満席の会場でした。アンケートのご回答から、名古屋市内や、東海地区だけではなく、日本全国からも来場いただいていることがわかりました。スマトラ島や、オランウータンや動物や自然に興味のある方が多く集まっていたいただき、最初から熱のこもった雰囲気となりました。



今日の総合司会も、昨日につづいて金森がつとめます。  
オランウータンコーヒーについて説明する金森。



最初に、東山動植物園副園長の茶谷さんから開会の挨拶。  
東山動植物園のスマトラオランウータン飼育の歴史や、オランウータンコーヒーの事、こうして現地のことを知る機会の重要性、動物園の役割など大変印象的な話がありました。



続いて黒鳥が、講師マシューさんの紹介や、スマトラに関して導入のミニトークを行いました。



いよいよマシューさん日本での2回目の講演が開始です。

昨日のSAGAとは一部内容を変えて、スマトラ島に生息する動物の写真などを多用して、動物ファンの方により身近に感じていただける内容にしました。



(C) Japan Orangutan Research Center



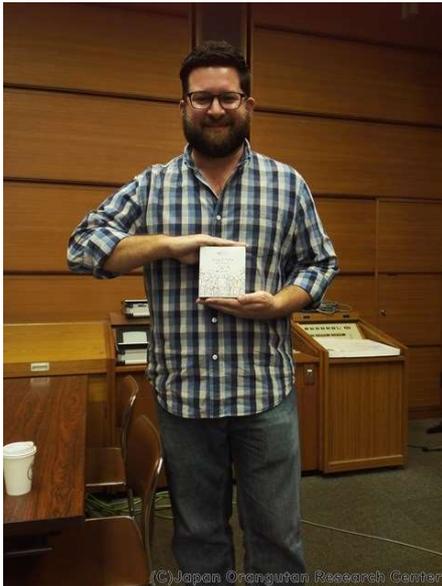
(C) Japan Orangutan Research Center

熱のこもった講演をするマシュー氏。本日も田島が翻訳者をつとめました。スライドごとに解説をしたり、質疑応答の翻訳を行いました。



(C) Japan Orangutan Research Center

講演後の質疑応答コーナー。たくさんの方から質問をよせていただきました！はい！と手をあげていただいているところ。時間の限り、ご質問をうけました。最後まで熱のこもった講演会になりました！



マシュー氏【オランウータンコーヒーは、スマトラ島のオランウータンの保護に役立てられます。収益の一部は私たち SOCP の活動に寄付されます】



講演会后、アンケートと引き換え券に、オランウータンコーヒーのプレゼントをお渡ししました。引換はこちらで一す。

たくさんの皆さまのご参加ありがとうございました！

このとき回答いただいたアンケートには、講演会を聞いた感想をたくさんよせていただきました。また2名の方がなんとマシューさんの似顔絵やオランウータンのイラストまで書いてくださっていました！あたたかなお気持ちがつたわりました。感想や、似顔絵はまとめてマシューさんご本人にお伝えいたします。



講演後、東山動植物園内を散策。

スマトラオランウータン舎で、アキちゃんと一緒にパチリ！



すべての日程が終わりました。  
お疲れ様でした！  
マシューさんほんとうに日本に来て、素晴らしい講演をしてくれてありがとう。  
これが今後につながる一歩にしていきたいと願っています。



講演会運営一同で、正門前で記念撮影。東山動植物園の皆さま、広報からはじまり、当日運営など尽力いただいていたありがとうございました。当日ボランティアスタッフとして動いていただいたお二人もありがとうございました。

講演会・企画展にご参加いただいた皆さまありがとうございました。  
今後の活動にもぜひご興味とご関心をおよせください。実施にあたりこの講演会・企画展は公益信託地球環境日本基金の助成をうけて実施いたしました。  
深く感謝いたします。

[公益信託地球環境日本基金 WEB ページへ](#)